

令和2年1月21日

北海道直轄港湾工事で初となるカルシア改質土工法を報道機関に公開 ～函館港若松地区の浚渫工事見学会を開催します～

函館開発建設部では、函館港若松地区岸壁の整備の一環として、大型クルーズ船入港に対応した水深10mを確保するための泊地浚渫を昨年9月から行っています。浚渫により発生した土砂は、カルシア改質土に改良して西防波堤背後の盛土材として投入します。

本見学会では、浚渫土とカルシア改質材の混合やカルシア改質土の投入状況を見学していただく予定です。

鉄鋼スラグを原料としたカルシア改質材と浚渫土を混ぜることで、軟弱浚渫土の強度増進や濁り抑制効果がある「カルシア改質土」が製造されます。

見学会では、工事全体の概要と浚渫土の有効活用による効果をご紹介します。

記

- 1 日時 令和2年1月29日（水） 9：00～10：30
- 2 集合場所 函館港湾事務所（函館市海岸町25番7号）
- 3 予定行程 別紙参照
9：00～ 9：15 1Fロビー集合、港湾業務艇「みずなぎ」乗船
9：15～ 9：25 「みずなぎ」にて西防波堤へ移動
9：25～ 9：40 カルシア改質土投入状況見学
9：40～ 9：50 「みずなぎ」にて函館港湾事務所へ移動、下船
9：50～10：00 各自で港町埠頭へ移動
10：00～10：30 カルシア混合状況説明

<留意事項>

- ① 取材を希望される報道機関の方は、1月28日（火）15：00までに社名、氏名、連絡先を広報官へお知らせください。事前の申し込みがない場合、乗船いただけないことがあります。
- ② 当日の作業状況により、順路に変更が生じる場合があります。
- ③ 悪天候や時化により作業の中止が見込まれる場合は、見学会を延期又は中止させていただきます。なお、中止の場合、前日28日の17時までにご連絡します。
- ④ 乗船時には、貸与するライフジャケットの着用をお願いします。

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 函館開発建設部 函館港湾事務所

副所長 おかもと 岡元 節雄 (0138)41-4156(内線22)

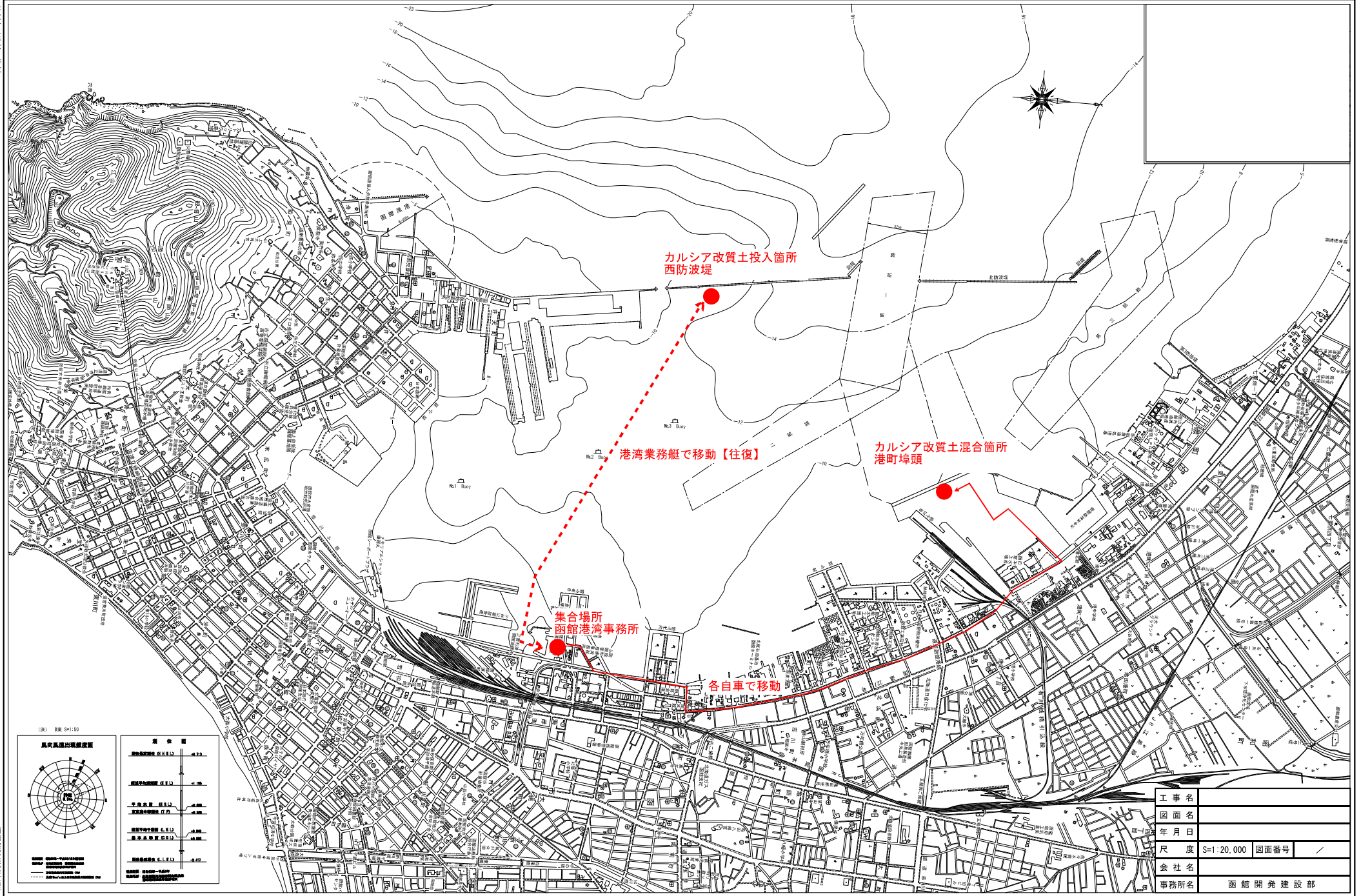
第1工務課長 はやし 林 誉命 (0138)41-4156(内線31)

函館開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/hk/>



函館港若松地区浚渫工事説明会 実施箇所図

平成十三年六月作成

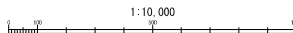


(換) 縮尺 1/150



標高	
標高500m以上	▲
標高400m以上	●
標高300m以上	○
標高200m以上	△
標高100m以上	▽
標高50m以上	◇
標高0m以上	□

工事名	
図面名	
年月日	
尺度	S=1:20,000 図面番号 /
会社名	
事務所名	函館開発建設部



函館港浚渫工事事務所